

環境づくり市民会議市長・教育長懇談会要旨

日 時 令和4年3月22日(火) 午後4時～午後5時
場 所 603会議室
出席者 (委員) 峯岸正雄、高橋勝緒、磯村史織、小林新、高橋絹世、田口瑛麗奈、
友國洋、渡辺康三
(和光市) 柴崎市長、大久保教育長、伊藤市民環境部長
傍聴者 なし
事務局 市民環境部次長兼環境課課長 末永、主幹 加藤、中島

1 開会

峯岸会長から開会のあいさつ

2 市長・教育長あいさつ

市長あいさつ要旨

和光市の環境行政、また、今年度は和光市第3次環境基本計画実行計画の策定においてご協力いただき感謝申し上げます。

第2次和光市環境基本計画実行計画に基づく環境施策の実施状況について、評価と提言をいただいたが、この評価と提言をしっかりと受け止め、今後の環境行政の推進につなげていきたいと考えている。

教育長あいさつ要旨

和光市の環境行政、教育行政にご協力をいただき感謝申し上げます。

コロナ禍において様々な事業が中止となる中、児童を対象にした越戸川総合学習や湧水自然観察会、また、初任者教員を対象にしたフィールドワークなどを設けていただき感謝申し上げます。

学校における環境教育の目的は、子供達が環境問題に関心を持つこと。身近な地域環境を学ぶことは、貴重な体験となる。子供達には、こうした経験をもとに、持続可能な循環型社会の実現を目指して主体的に行動出来る資質、能力の育成に繋がっていくことを期待している。本日は、皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の教育行政に生かしてまいりたい。

3 令和2年度環境施策実施状況に対する評価と提言について

峯岸会長より、評価・提言について説明いただく

4 令和3年度和光市環境基本計画推進調整委員会について

令和3年度和光市環境基本計画推進調整委員会委員長報告要旨

環境づくり市民会議の評価・提言のフィードバックと併せて、各課における施策の取組状況について把握し、全庁的に情報の共有を図り、各課とも環境に配慮する考え

であることを確認した。

計画期間を総括し、令和2年度までの目標に対する達成度として、達成している取組がある一方、達成していない取組もある中で、今年度から新たな計画期間が始まり、困難な課題もあるが、厳しい財政状況を踏まえ、国・県等のいろいろな制度の活用を図りながら、行政一丸となって取り組んでいくので、ご協力をお願いしたい。

5 意見交換

会員意見等

- 和光市環境審議会が令和3年2月12日付で和光市気候非常事態宣言を市長あて提言した。宣言することで、市民の市への協力にも繋がると思うので、検討していただきたい。
- 市内の緑が減っていることを痛感せざるを得ない。東京都と和光市の境界にあった緑が無くなってしまった。一方で、大坂ふれあいの森が維持されているのは嬉しく思う。また、今年度はみどりの基本計画策定にあたり委員を努め、主要現場を見学できて良かった。湧き水とみどりを維持していこうという基本計画となっている。計画が出来ただけでは役に立たないので、この計画が少しでも実行されていくことを期待している。その点で、計画策定に尽力いただいた担当者が異動されると聞いたが、計画を策定した方が、すぐに異動となるのは大変問題ではないかと思う。計画を策定したら、実行までやっていただかないと、計画が埋もれてしまうのではないかと心配している。
- 二年前、和光市に引越してきた。子供に、和光市の文化や自然を肌身で感じることができるよう取組ができればと思い、市民会議に参加させていただこうと思った。
- 開発が進む中で、大坂ふれあいの森が維持されてよかった。みどりの基本計画や環境基本計画などの計画が進む中で、小中学生の子供達に計画を実感する場を作って、和光市の緑を残す担い手を残して欲しい。
- 公共交通についてお願いしたい。南側は西武線に通じるバスがあるが、北側にも埼京線や都営三田線に通じる路線をバス会社に働きかけて欲しい。将来的には、自動運転サービスが導入されるが、和光市駅～SGリアルティ和光のバス路線について、外環側道沿いに停留所を設置して欲しい。オリンピックに合わせてバス停を設置したが、今後の活用について検討をお願いしたい。
- 環境基本計画に市内の研究機関や事業者と連携した環境活動・啓発の推進とあるが、引き続き、理化学研究所と和光市で連携してまいりたい。先日、構外の清掃活動を実施した際に大量のゴミを回収した。このような活動も引き続き実施していきたい。また、環境に関する研究者もいるので、一般公開などで子供達に向けて発信できたらと思う。
- 長年、環境基本計画に携わってきた。計画は達成しなければ意味がないと思っている。予算がないから出来ないではなく、もっと必死に取り組んでほしい。予算がなく達成できない計画であれば、最初から策定しないよう指導してほしい。
- みどりの基本計画の説明会にも出席したが、大いに期待している。午王山遺跡が国の史跡に指定されたが、もっと、市民に遺跡を理解してもらう必要があるのではないか。景観について、公共施設が大きな要素を持っていると思うが、建物のデザインな

どについて、市民の意見を聞いてほしい。

- 若い世代としては、教育面で、自然保護と啓発活動、自然とふれあう機会を設けてほしい。

市長回答要旨

非常事態宣言については、今すぐ宣言する予定はないが、宣言する際は何か具体的な施策とセットでしたいと考えている。

異動については、しっかり引き継ぎ、職務に務めるよう伝えているので、ご安心いただきたい。

コロナなどもあるが、感染対策を取りながら、和光を身近に感じる行事を開催していただきたいと思う。

大坂ふれあいの森について、現状維持をしていけるよう一緒に考えていきたい。

路線バスのご意見について、公共交通政策室に伝える。駅前のバス停について、朝霞警察とも交渉をしており活用方法を検討している。

理化学研究所の一般公開について楽しみにしている。ゴミ拾いなど、市役所で一緒に参加できることがあれば協力させていただきたい。

計画について、ご指摘のとおり、目標を高く設定しすぎていると達成できないので、計画策定の段階で、抑えていくなどの検討をするようにする。

午王山遺跡の周知について、活動している方や近所の方は知っていると思うが、PR方法を工夫する必要があると思う。

教育長回答要旨

教育委員会でも、教育振興基本計画を計画期間5年で策定し、具体的な取組の目標値として年度毎にアクションプランを作成している。この実行計画がしっかり出来上がっていれば、計画倒れにならないと思う。過程をしっかり踏まないと、成果は見えてこない。

学校教育では、幼児期から自然との関わりを意識することは情操教育の一環である。学年が上がると机上の学習になりがちで、実際に体験していない。身近に起きている環境問題について、どういう解決策があるかを考えていくことが環境教育であると思う。指導する側として、親、地域の方に加わっていただけないと、環境教育は浸透していかないと思う。

令和元年度に埼玉県環境政策課が実施した環境学習アンケート調査結果を見ても、テレビ等でSDGsが取り上げられていても、何をすべきか理解し行動できている人は少ない。行政と見識のある皆さんと連携していかなければならないと思う。

6 閉会